



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(3月20日時点)

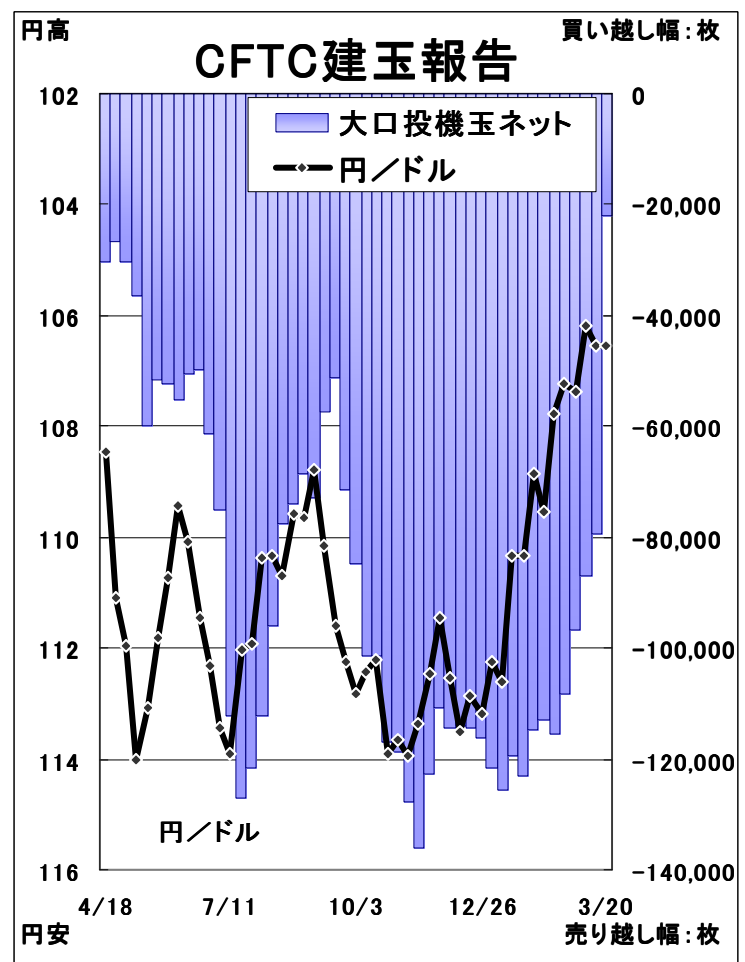
米商品先物取引委員会(CFTC)が23日に発表した建玉報告によると、20日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、2万1999枚となり、前週比5万7540枚縮小。投機筋は買いポジションを増やし、売りポジションを減らした。

期間中の円(対ドル)は小幅高。米連邦準備制度理事会(FRB)が20、21両日の米連邦公開市場委員会(FOMC)での追加利上げに踏み切るとの見方や、米FOMC参加者による金利見通しで2018年の金利引き上げ回数を従来の「年3回」から「年4回」へ引き上げるのではないかとの見方から、円売りドル買いが進行する場面もあった。しかし、鉄鋼・アルミニウムの輸入制限を近く発動する米国の強硬姿勢に、報復措置の応酬となる「貿易戦争」への懸念が台頭。また、トランプ米政権の主要閣僚の交代が続く中、さらなる人事刷新が行われるとの観測を背景に安全資産として円を買ってドルを売る動きも強まり、強弱材料が交錯する中、週間ベースでは小幅な値動きに留まった。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は13万2739枚となり、前週比1万3641枚縮小。

欧州中央銀行(ECB)が金融緩和策からの出口戦略の一環として、来年以降の具体的な利上げ論に議論の軸足をシフトしつつあるとの一部報道を受けて買われる場面もあったが、21日、22日両日開催の米FOMCでの政策金利引き上げ見通しを背景に、欧米の金利差拡大が意識され、ユーロ売りドル買いが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
11/21	112.47	-122,602	1.1735	95,437
11/28	111.45	-110,640	1.1842	89,681
12/05	112.55	-114,267	1.1826	93,106
12/12	113.51	-114,123	1.1741	113,889
12/19	112.86	-114,373	1.1842	86,224
12/26	113.17	-116,086	1.1863	92,148
01/02	112.25	-121,766	1.2058	127,868
01/09	112.62	-125,536	1.1933	144,691
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
前週比	-0.01	+57,540	-0.0151	-13,641



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。